

2018（平成30）年度 東京大学 入試問題 第4問（文系） 解答例

- 一 親の思い通りに教育を準備しすぎると、親の知りえないことについて、子供自身が動物から直接感得する機会は失われるから。
- 二 動物と子供との間の特殊な対話を題材にして大人が創った物語は、人間社会の道徳を教育するための虚構であるということ。
- 三 蚤を理解するために飼育して血を与えた少年を、道徳的観点によって動物愛護の模範と誤解するのは、愚かしく思われるから。
- 四 子供は、人間とは異なる他者の存在を感得しようとして、小動物との間で言葉を介さず沈黙のうちに交感しているということ。